

財政について

今後の財政について伺います。

企画財務部長 賃上げが持続的になされることは社会経済活動の活発化につながり、ひいては市税収入の増加も期待できるものではないが、現状の歳出面を考えた場合、市のあらゆる課において委託業務や工事等のコスト増の要因となっており、今後もこの傾向は続くものと考えている。

新設校建設については、統合ありきではなく、地域単位で2年間かけてしっかりと協議をしてから方針を決定すべきであることや、物価高騰等の影響が大きいため財政面からも反対をしてみました。今、そのとおりになっているのではないかと思います。

避難所について

女性職員の配置について。

市民生活部長 内閣府の調査では、防災担当の女性職員が10%以上いる市区町村は、女性ゼロの市区町村よりも生理用品や乳児用ミルク、紙オムツ、宗教に配慮した食べ物などの備蓄が進んでいる傾向があったと報告されている。

今後、女性の視点から避難者に対して、きめ細かな提案がなされるよう、定員管理計画において要望していく。

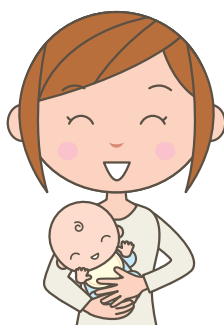
高校卒・18歳までの医療費完全無料化について

少子化対策優先の市長公約に近づいたことは評価したいと思います。市長の所見を伺います。

要な施策と位置づけ、検討を進めてきた。

子供の医療費無償化については、子供がいるご家庭の経済的負担の軽減を図ることによって、結城市の未来を担う子供を育む環境づくりを推進する有効な事業であり、実施を判断したものである。

市長 私が市長1期目に掲げた「徹底子育て支援」、さらに、再選に当たり公約として掲げた、新3K宣言の3つの柱のうち、「健康増進」を指す上で、最重



子どもの医療費での窓口負担金が10月1日から無料になります

毎年要望してきたことが5年を経て実現します。



平 陽子 (たいら ようこ)

録画映像はこちら

